

報告質疑1

総務委員会

文教厚生委員会

建設産業委員会

Q：公共資源回収ステーション開設について、どこにどのような形で設置されるのでしょうか。

A：市内の北部と南部の公共施設に1か所ずつ開設します。
どの施設か等の詳細は今後決定すると（半田市から）聞いています。

報告質疑2

総務委員会

文教厚生委員会

建設産業委員会

Q：病院予定地の広さはどの程度ですか？また、現病院と比較するとどうですか。

A：約4ヘクタールで、現病院と同程度の広さです。

Q2：4ヘクタールで不足はありませんか。

A2：駐車場も含め足りると考えているとのことです。（半田市及び半田市立半田病院）

意見交換会1

地区：

氏名：

Q：議会報告に在り方として、発言者に対して回答があってもよいのでは？一方通行ではないキャッチボールを。

A：可能な限り回答をさせていただく考えですが、市議会として回答できる範囲もあり、資料がなくその場で回答できない場合もありますので、その場合は後日ホームページでの回答とさせていただきます。

意見交換会2

地区：

氏名：

Q2：ホームページは高齢者等には見づらいため、個人へ直接回答してほしい。

A2：個別回答の場合、ご住所や電話番号などの個人情報を教えていただく必要が生じます。市議会で今後どのように回答していくべきかを検討します。

意見交換会3

地区：

氏名：

Q：地域担当職員の役割は？

A：自治区のサポートです。また、（市からは）全ての自治区に派遣をしているのではなく、要望のあった自治区に配置していると聞いています。

Q2：現場を知るために配置しているのではないか？区の総会にも来ない職員がいるがどうか。担当職員間で話し合いはしているのか。

A2：市議会からは事業評価で市に制度の改善を要望しています。市は地域担当職員会議を開催する他、担当職員間で庁内LANツールを使用し情報の共有を図っています。

意見交換会4

地区：

氏名：

Q：自治区の組織力強化について、小学校区単位のコミュニティに再編するなど、とはどういう意味でしょうか？

A：現在の半田市は大小様々な自治区が存在します。区に拘らず、小学校区単位でまとめ、活動することで公共施設等も有効活用できるという市の考えです。各自治区の合併ではなく、コミュニティと言う新しい組織をつくって地域をまとめていきたいということです。

意見交換会4

地区：

氏名：

Q2：小学校区単位では規模が大きいのではないか。家庭から出る有価資源の回収なども各自治区がそれぞれのやり方で行っている。そういった点も含めて自治区の在り方を考えていくべきではないか。

A2：ご意見としてお聞きし、今後の参考にさせていただきます。

意見交換会5

地区：

氏名：

Q：さくら小学校区方面のごんくるバスは、現時点でどのような計画になっているか？

A：現段階ではさくら小学校区には路線はありません。今後、地区路線Bを作っていく、地区バス会を地域で立ち上げていただきたい。

Q2：今の世の中、地域で声をあげにくい状況もある。半田市、半田市議会、それぞれが市民の声を聴き、拾い上げ、受け止める姿勢を見せてほしい。

A2：ご意見として承りまして、今後の議会活動に活かしていきたいと思います。

意見交換会6

地区：

氏名：

Q：半田病院の移転にともない、どのような公共バス路線を考えているか。

A：市では地域公共交通会議という会議体で話し合いをしています。病院が移転する平成37年度、そのような先のことまでは一切話し合いはされていなくて、昨年10月から始まった試行運転の分析を行い、低い乗車率をどう向上させ継続させていくかを協議している状況です。

意見交換会7

地区：

氏名：

Q2：半田運動公園の東へ病院の場所を決めた理由は何ですか？他の土地の検討はされたのか。

A2：市が運動公園に建設しようとした際に生じたリスクを回避するために周辺の土地を探し、調整したところ購入の目途がついたためと聞いています。他の土地の検討の有無については市の説明はありませんのでなかったと考えています。

意見交換会8

地区：

氏名：

Q：在住外国人が増えてきているが、これによって生ずる様々な問題をどのように捉えてるか？

A：互いに多様な文化を認識し、共有する意識が必要と考えています。市議会においても、市全体の意識を高めるために「多文化共生社会の推進」に関する条例を策定しました。

Q2：市内の公営住宅は空室が増え、そこに外国人が入居されて、言語、文化や生活習慣の違いで問題が生じている。

A2：文化の違いは一朝一夕に整理がつくものではなく、時間がかかりますが、一步一步進めていかなければならないことだと思います。

意見交換会9

地区：

氏名：

Q：パスポートセンターについて、知多、三河地域が混在しているが、参加市町はどのように決めたのか。

A：半田市が近隣市町に呼びかけ、応じた市町です。

Q2：運転免許証の自主返納制度は65歳からとのことだが、65歳はまだ現役、後期高齢者の75歳くらいからにすべきでは。

A2：同様の質問を総務委員会の予算審査で行いました。市はさらに若い方からの返納希望もあるが、一定の区切りが必要であるため65歳としたとのことです。

意見交換会 9

地区：

氏名：

Q3：半田病院の予定地について、土地の購入費用はどれぐらいなのか。妥当な額であるか検証はしているのか。

A3：取得の用途が立ったということで、金額についてはまだ示されていません。用地買収の予算計上時に概算額がわかりますので妥当かどうかを議会でも審議することになります。

意見交換会 9

地区：

氏名：

Q4：下水道について、自治会で浄化槽を所有しているが、市は下水道接続についてどう考えているのか。また、市の担当課はどこか。

A4：お尋ねの地域は市街化調整区域となりますが、町の北側に市の下水管が通っており接続協議が可能です。今後接続する場合、マンションは居住者の皆様の議決（自治会や管理組合など）が必要となり、その他、接続費用が申請者の負担となること、接続費用が申請者の負担となること、下水道協力金や圧送ポンプが必要となることなど、他の地域と比べて課題が多くあります。

担当は市の下水道課です。